

【収入保険】私の選択・加入者の声



「価格低迷時の補償に安心感」

【鹿児島県霧島市 末元 正輝さん（28）】

両親と共に、「やぶきた」や「あさのか」、「ゆたかみどり」など12品種の茶を約6ヘクタールで栽培しています。

収入保険は、昨年9月の説明会で知りました。地区担当職員から制度についての説明を聞き、基準収入に基づいた掛金の試算など、加入に必要な経費や支払われる補償額などを確認しました。これからも茶農家を続ける上で不可欠な備えだと感じ、最大補償の9割で加入しました。

市場価格の低迷による収入減少も補償の対象となることが、収入保険を選んだ理由の一つです。茶は1番茶が最も高く取引されますが、2番茶や秋冬番茶はそれよりも安価になります。

また、茶の生産に関するリスクに遅霜があります。特に1番茶の新芽が出始める3月から4月は注意が必要です。また、昨年3月の新燃岳の噴火による降灰では、**備えの重要性をより認識するきっかけ**になりましたね。**万が一被害に遭っても収入保険が補償してくれるのは安心感につながります。**

（農業共済新聞 2019年7月4週号より抜すい）